

第155期のご報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

株主のみなさまへ

当連結会計年度のわが国経済は、企業収益や個人消費は改善基調で推移し、足元では緩やかな回復基調にあるものの、世界において政治情勢の不透明感が増しており、楽観視できない状態が続いております。

当企業集団を取り巻く医薬品業界においては、薬価制度の抜本改革、後発品の使用促進策の強化等、医療費抑制のための諸施策が引き続き推進され、厳しい環境下にあります。

機能食品事業においては、健康志向の高まりにより機能性食品へのニーズは強いものがありますが、家計消費の伸び悩みや参入企業の増加等から、企業間の競争も激化し、厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当企業集団の売上高は1,014億4千8百万円と対前期比2.7%の増収、利益面では、営業利益は170億7千9百万円、対前期比11.8%の増益、経常利益は174億5千1百万円、対前期比7.4%の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は129億5千3百万円、対前期比10.2%の増益となりました。

今後も引き続き、「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」という経営理念のもとに、社会から信頼される「ヘルスケア分野で存在意義のある会社」でありつづけるために事業活動を推進する所存であります。

今後とも株主のみなさまの変わらぬご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



平成30年6月

代表取締役社長 前川 重信

業績ハイライト (連結)

(単位:百万円)

	前期 自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	当期 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
売上	98,781	101,448
うち医薬品売上	85,315	87,416
うち機能食品売上	13,466	14,031
営業利益	15,280	17,079
経常利益	16,244	17,451
親会社株主に帰属する当期純利益	11,749	12,953

医薬品事業

前期に計上した導出自社創薬品「ウプトラビ」の過年度原薬代金の精算による収益がなかったものの、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」、骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」、がん疼痛・慢性疼痛治療剤「トラマール」・「ワントラム」、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」等の伸長に加えて、共同販促収入や、平成28年11月に国内で販売を開始した自社創薬品の肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」の売上伸長と同製品の海外売上に伴うロイヤリティ収入が大幅に増加しました。その結果、売上高は874億1千6百万円と対前期比2.5%の増収となりました。

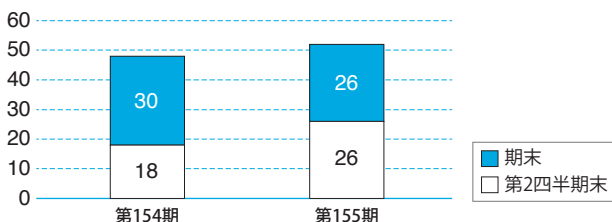


機能食品事業

プロテイン製剤、品質安定保存剤、健康食品素材の売上が増加し、売上高は140億3千1百万円と対前期比4.2%の増収となりました。



1株当たり配当金 (単位:円)



主力製品売上高

(単位:百万円)

製品名	薬効	前期	当期	対前期 増減率(%)
ビダーザ	骨髄異形成症候群 治療剤	14,085	15,643	11.1
ザルティア	前立腺肥大症に伴う 排尿障害改善剤	8,306	10,449	25.8
トラマール・ ワントラム	がん疼痛・慢性疼痛 治療剤	5,797	6,622	14.2
ルナベル	月経困難症治療剤	5,490	5,374	△ 2.1
アドシルカ	肺動脈性肺高血圧症 治療剤	4,300	4,617	7.4
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	3,615	3,825	5.8
エリザス	アレルギー性鼻炎治療剤	2,494	2,916	16.9
エピプロスタット	前立腺肥大症治療剤	3,319	2,761	△ 16.8
ウプトラビ	肺動脈性肺高血圧症 治療剤	357	2,690	652.9
アズノール うがい液	アズレン含嗽液	2,423	2,363	△ 2.5
共同販促収入		2,928	3,962	35.3
工業所有権等 収益		7,408	10,378	40.1
医薬品 計		85,315	87,416	2.5
機能食品 計		13,466	14,031	4.2
売上高		98,781	101,448	2.7

製品開発状況

〈国内開発状況〉

(平成30年5月9日現在)

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応
申請中	GA101 (オビヌツズマブ)	血液がん	CD20陽性のB細胞性 濾胞性リンパ腫
申請準備中	NS-73 (デフィプロチドナトリウム)	血液がん	肝中心静脈閉塞症
PⅢ	NS-304 (セレキシバグ)	難病・希少疾患	慢性血栓塞栓性 肺高血圧症
PⅡ	NS-304 (セレキシバグ)	循環代謝系	閉塞性動脈硬化症
PⅡ	NS-304 (セレキシバグ)	整形外科	腰部脊柱管狭窄
PⅡ	NS-580	婦人科疾患	子宮内膜症
PⅡ	NS-17 (アザシチジン)	血液がん	急性骨髄性白血病
PI/Ⅱ	NS-065/ NCNP-01	難病・希少疾患	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー
PI	NS-32	婦人科疾患	鉄欠乏性貧血
開発準備中	NS-917	血液がん	再発・難治性急性骨髄性 白血病
開発準備中	NS-87	血液がん	二次性急性骨髄性 白血病

〈海外開発状況〉

開発段階	開発記号 (一般名)	領域分類	適応
申請中	NM441 (プルリフロキサシン)	感染症	合成抗菌剤
PⅡ	NS-065/ NCNP-01	難病・希少疾患	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー
PI/Ⅱ	NS-018	血液がん	骨髄線維症

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社の単元株式数は100株となっております。

単元未満株式につきましては、原則として、証券市場で売買することができない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。

このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しておりますので、単元未満株式をご所有の株主各位におかれましては、ご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、お手続きはお取引先の証券会社または三菱UFJ信託銀行(TEL:0120-094-777)にお申し出下さい。

株式の状況

(平成30年3月31日現在)

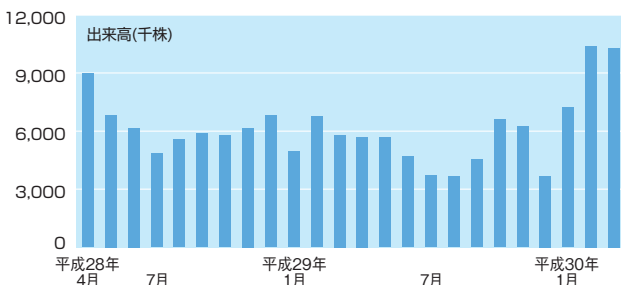
発行済株式の総数 70,251,484 株
 株主数 4,998 名

〈大株主の状況〉

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	6,486	9.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,238	6.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,989	5.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,315	4.92
株式会社京都銀行	3,090	4.59
日本生命保険相互会社	2,082	3.09
JP MORGAN CHASE BANK 385147	1,471	2.18
JPMC OPPENHEIMER JASDEC LENDING ACCOUNT	1,436	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,000	1.49
東京海上日動火災保険株式会社	979	1.45

- (注) 1. 持株比率は自己株式(2,896,632株)を控除して計算しております。
 2. 持株比率は小数点第三位を四捨五入して表示しております。
 3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

株価／出来高の推移 (平成28年4月～平成30年3月)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当受領株主 確定日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
定時株主総会 招集時期	6月(同総会権利行使株主確定日3月31日)
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話:0120-094-777(平日9:00~17:00)

株式に関するお問い合わせ

- 届け出住所などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求



口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式については、三菱UFJ信託銀行(連絡先上記)にお問い合わせください。

- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他一般的な株式事務



三菱UFJ信託銀行(連絡先上記)にお問い合わせください。



日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14
<http://www.nippon-shinyaku.co.jp>
TEL.075-321-1111(大代)



この印刷物は環境に考慮し、大豆インキで制作しています。
※この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に
寄付されております。